

社会福祉法人
小笠原村社会福祉協議会

◇昭和51年7月15日 第1号発行◇

No. 154

がじゅまる

〒100-2101小笠原村父島字奥村
小笠原村地域福祉センター内
TEL 04998-2-2486 FAX 04998-2-3400
E-mail:shakyo-chichijima@h5.dion.ne.jp
〒100-2211小笠原村母島字元地
母島村民会館内 母島事務局
TEL&FAX 04998-3-2188
E-mail:shakyo-hahajima@h5.dion.ne.jp
ホームページ <http://www.ogasawara-shakyo.jp>

◇ 社協は、みなさまの会費・ご寄付・村の補助金・委託金などで運営されています ◇

一時的な資金の緊急貸付に関するご案内

社協では、低所得世帯等に対して、生活費等の必要な資金の貸付等を行う生活福祉資金貸付制度を実施しております。

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付の対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けた、緊急小口資金等の特例貸付を実施しています。

主に休業された方向け(緊急小口資金)

緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に、少額の費用の貸付を行います。

■対象者

新型コロナウイルスの影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯

■貸付上限額 20万円以内

■据置期間 1年以内

■償還期限 2年以内

主に失業された方向け(総合支援資金)

生活再建までの間に必要な生活費用の貸付を行います。

■対象者

新型コロナウイルスの影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯

■貸付上限額

・(二人以上) 月20万円以内

・(単身) 月15万円以内

貸付期間：原則3月以内

■据置期間 1年以内

■償還期限 10年以内

今回の特例措置では新たに、償還時において、なお所得の減少が続く住民税非課税世帯の償還を免除することができることとしています。

お問い合わせ

04998-2-2486

令和2年度 社協の事業計画

今年度の社協の事業計画・予算が、3月の理事会・評議員会で承認されました。

◆基本方針◆

地域福祉を推進する民間福祉活動の核として

- ・誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり
- ・地域で「最期」まで支える仕組みづくり

を推進する。

◆重点目標◆

- 1、総合相談業務を強化し、地域のニーズを発掘して地域貢献事業の創出につなげる。
- 2、子育てにやさしい地域づくりを目指す。
- 3、高齢者・障害児者の日常生活支援に努める。

◆社会福祉事業◆

◇地域福祉活動◇

- ・福祉団体の助成（助成金の交付）
- ・福祉教育（教育旅行・職場体験の受入）
- ・福祉バザーの開催
- ・郷土文化の伝承
- ・戦没者追悼式典の開催（村主催）
- ・夏休みラジオ体操
- ・赤い羽根共同募金活動

◇子ども家庭福祉◇

- ・行事の開催（こどもの日、クリスマス会）
- ・学童保育の運営（父島）（村補助）
- ・一時預かり事業の運営（父島）
- ・チャイルドシートの貸出（会員対象）
- ・子育て支援

◇高齢者関係◇

- ・行事の開催（敬老の日）
- ・ゲートボール・グランドゴルフ大会参加助成
- ・いきいきサロン運営

- ・シルバー人材設立準備

◇自立支援事業◇

- ・高齢者・障がい者の総合相談、就労支援
- ・バザー（あゆみの店・母島ミニバザー）、船待古本屋の運営
- ・居場所づくり事業（村受託）

◇ボランティア活動推進◇

- ・ボランティアセンターの運営（ロッカー・スペース・物品の貸出）
- ・登録ボランティア団体・個人の活動支援
- ・ボランティア保険・行事保険の事務取扱

◇在宅福祉◇

- ・食事サービス・ほがらかサービスの運営（村受託）
- ・介護予防体操教室（父島）（明老会受託）
- ・ヘルスアップ教室協力（父島）（村主催）

◇その他◇

- ・生活福祉資金の貸付事業（東社協受託）
- ・福祉サービス利用援助事業（東社協受託）
- ・たすけあい資金貸付事業（独自貸付）

◆公益事業◆

◇施設管理◇

- ・母島村民会館管理（村指定管理）
- ・奥村運動場管理（村指定管理）
- ・地域福祉センター管理（村指定管理）
- ・大神山公園管理（清掃・巡回）（公園協会受託）
- ・父島火葬場管理（村受託）
- ・奥村村有施設管理（保育園・ふらっとハウスの草刈）（村受託）
- ・奥村・扇浦交流センター管理（清掃）（村受託）

◇ちびっこクラブ事業◇

- ・3～4才児保育（認可外）（村補助）

◇助葬事業◇

葬儀のコーディネートと物品の貸出・払出

令和2年度 社協の予算**総額は 1億2,697万円 です**

◆会計別予算（法人全体）

単位：円

拠点区分名	今年度当初 予算額	前年度当初 予算額	増 減
地域福祉活動推進事業	64,296,000	60,004,000	107.2%
たすけあい資金貸付事業	102,000	102,000	100.0%
施設管理事業	42,720,000	41,119,000	103.9%
ちびっこクラブ事業	17,073,000	17,006,000	100.4%
助葬事業	2,779,000	2,779,000	100.0%
総合計	126,970,000	121,010,000	104.9%

本年は、新型コロナウイルス感染予防のため、すでに様々な予定が中止となっています。

しかし、地域福祉が停滞することのないよう、できる範囲で事業を遂行していきます。

◆科目別予算（法人全体）

【収入】

単位：円

科目	予算額	割合
受託金収入	57,993,000	50.5%
経常経費補助金収入	46,866,000	40.8%
事業収入	6,343,000	5.5%
会費収入	1,531,000	1.3%
雑収入等	1,287,000	1.1%
バザー-事業収入	900,000	0.8%
経常収入計	114,920,000	100%

【支出】

単位：円

科目	予算額	割合
人件費	92,810,000	73.1%
事務費	18,794,000	14.8%
事業費	15,108,000	11.9%
助成金支出等	158,000	0.1%
貸付事業等支出	100,000	0.1%
経常支出計	126,970,000	100%

赤い羽根共同募金の報告**【総額 555,344円】**

昨年秋、赤い羽根共同募金活動を実施しました。みなさまのご協力、ありがとうございました。

今年は、母島でかんたんテントの購入のために助成金をいただきました。ぜひご活用ください。

内訳：父島	戸別募金	168,180円
	直納募金	128,760円
	職域募金	93,750円
	合計	400,690円

母島	戸別募金	70,330円
	直納募金	44,372円
	職域募金	39,951円

合計	154,653円
利子	1円

現在、赤い羽根共同募金会では、
「支える人を支えよう！

赤い羽根 新型コロナウイルス感染下の福祉活動応援 全国キャンペーン」を実施しております。

お寄せいただいた募金は、広く子どもや家族の緊急支援活動、フードバンクの活動、居場所を失った人への緊急支援活動の助成資金として役立てられます。

振込先：三井住友銀行 東京公務部（普）177631

口座名義：社会福祉法人 中央共同募金会

詳しくは、ホームページをご覧ください。 <https://www.akaihane.or.jp>



福祉バザーの報告

【父島】1月19日(日) 11~14時
地域福祉センターにて

「今年はインフルエンザが流行らなくて、無事開催できてよかったね〜！」と喜んでいたあの日が懐かしい・・・。
あゆみの店再開も待ち遠しいですね！！

【母島】2月16日(日) 10~13時
母島村民会館にて

バザー物品を提供して下さった皆様、お手伝いいただいたボランティアの皆様、お買い物に並んでいただいたお客様、本当にありがとうございました。
次回もぜひご参加ください。

★出店のみなさまからご寄付いただきました。ありがとうございます★

【父島】商工会女性部(3,000円) イベント協議会(15,000円) お祭り会(15,000円) お菓子の会(18,000円) マーメイドカフェ(5,000円) みきこ坂(2,000円) 図書室をよくする会(3,000円) ザトウ親子の会(1,000円) 野生生物研究会(600円) フリマ出店者7件(4,250円)

【母島】松本農園(5,000円) チーズフランク会(6,818円) 藤谷農園(6,000円) 299デリ(3,500円) 母島婦人会(10,000円) 重田弘子(5,000円) フリマ出店者3件(700円) 匿名(5,000円)

令和2年度 職員体制

- 局長 斎藤 実
- 次長 川本 真裕
- 主査 北條 綾子
- 主査 松林 久美子
- 主事 橋本 翔太

母島事務局

- 主事 杉村 由紀

ちびっこクラブ

- 主査 上瀧 有一
- 主事 石井徳乃(4/8付採用)

*福本ひろみは育児休業取得中。
*杉原玲子は5月末日付退職いたしました。

今後とも、みなさまのご支援ご指導をよろしくお願いいたします。

新入職員のごあいさつ

4月からちびっこクラブの指導員になりました。石井徳乃(いしいなる)です。



遡る事21年前。ちびっこクラブに通っていた私は“大きくなったら、ちびっこクラブの先生になりたい!”という夢を持ちました。小笠原高校を卒業し神戸の保育大学に進み、大阪の保育園で本当にたくさんの大切なことを学ばせていただきました。そしてこの春、ちびっこクラブの指導員として帰ってくることができました。

これから子どもたちと青い海、青い空、緑いっぱいの山、大きな夕日、満天の星空、たくさんの島の素晴らしいものを身体で感じると共に、子どもの嬉しい、楽しい、悲しい、悔しいの気持ちを一緒に感じ、一緒に大きくなっていきたいと思います。

笑顔いっぱい、元気いっぱいで頑張りますので、どうぞよろしくお願いします。

お心をお寄せいただいた方々

【令和2年1月~5月】(敬称略・順不同)

社協のために

都立小笠原高等学校 中村直樹 22,089円

地域福祉のために

佐藤 茂男 200,000円
 Hitomi ママ 11,200円
 匿名 10,000円

ちびっこクラブ運営費のために

リサイクルの会 50,000円



社協への寄付は税制上の優遇措置が受けられます